



2015年度 決算

SGS2020 Rolling Plan

2016年5月12日

代表取締役社長 手代木 功



本日の内容



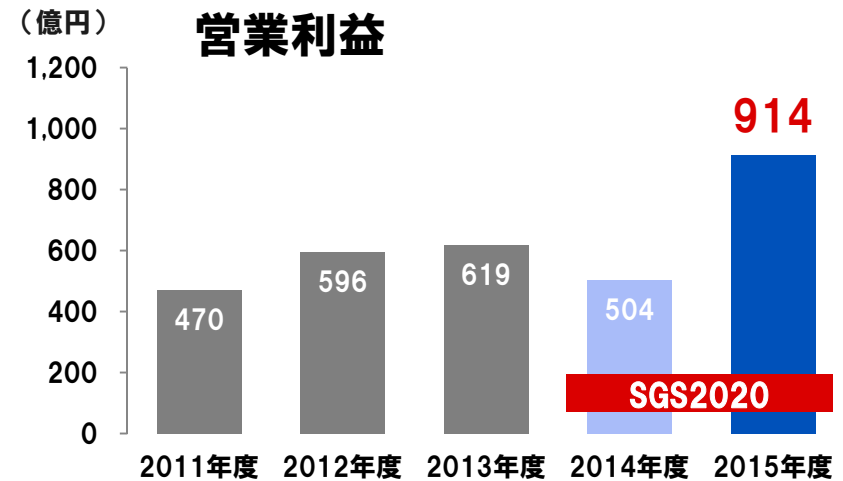
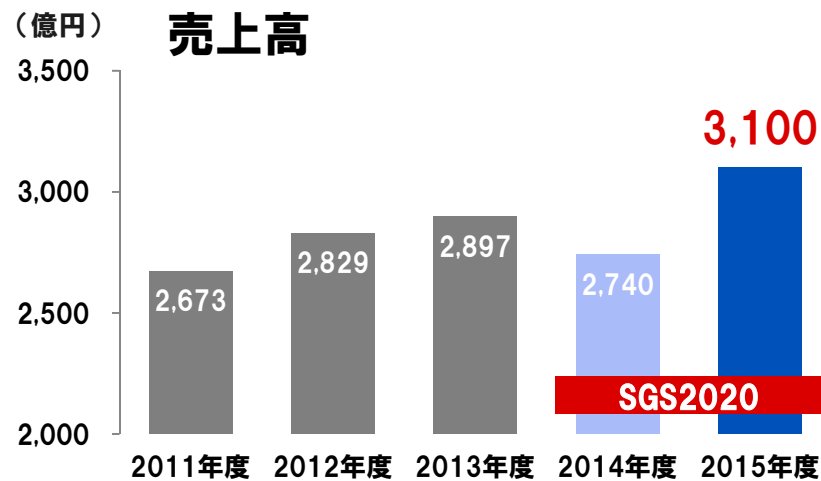
1. **2015年度 決算の概要**
2. **2016年度 ビジネスプラン**
3. **SGS2020 Rolling Plan (2018年度目標)**
4. **質疑応答**

2015年度 決算の概要

2015年度決算サマリー①



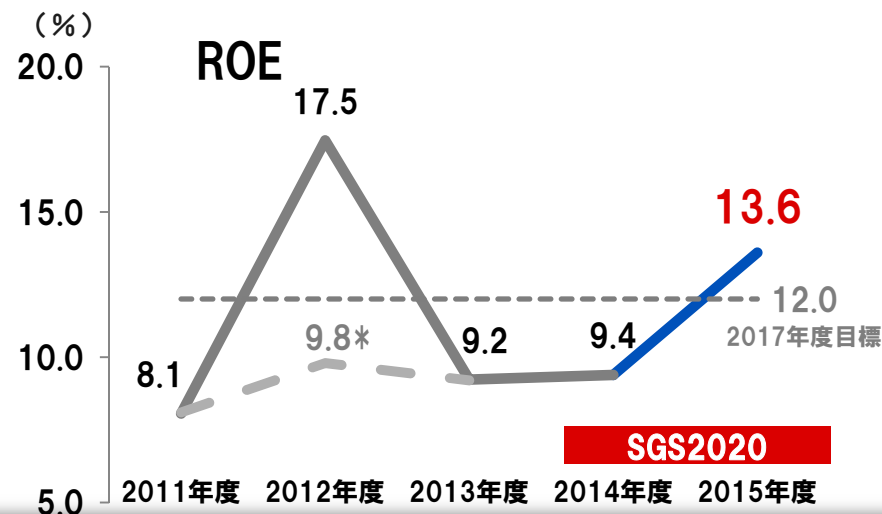
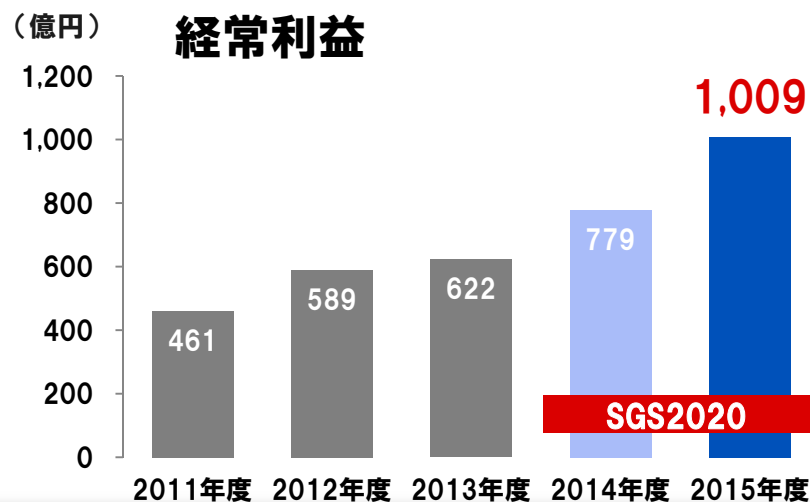
- ◆ 売上高: 計画を上回る**3,100億円**
- ◆ 営業利益:**914億円**(2年ぶりに過去最高)



2015年度決算サマリー②



- ◆ 経常利益: **1,009億円**(4期連続過去最高)
- ◆ ROE: **13.6%**
(昨年公表の2017年度目標を大幅に超過)
- ◆ ナルデメジンの**日米同時申請**を実施



連結経営成績



(単位:億円)

	2015年度 通期予想	2015年度 実績	対予想 達成率 (%)	2014年度 実績	対前年 UP率 (%)	増減額
売上高	3,015	3,100	102.8	2,740	13.1	360
営業利益	780	914	117.2	504	81.5	410
経常利益	880	1,009	114.6	779	29.5	230
親会社株主に帰属する 当期純利益	590	667	113.0	441	51.4	226
ROE	11.9%	13.6%		9.4%		

為替レート (期中平均)	2015年度 前提	2015年度 実績	2014年度 実績	対前年 比較
ドル	120円	120.15円	109.76円	10.39円安
ユーロ	130円	132.59円	138.69円	6.1円高
ポンド	180円	181.33円	176.68円	4.65円安

財政状態/キャッシュフローの状況

◆ 財政状態

(単位:億円)

	2016年 3月末	2015年 3月末	増減額
資産合計	6,396	6,029	367
流動資産	3,156	2,599	557
固定資産	3,240	3,430	△189
負債合計	1,258	1,240	17
流動負債	720	678	42
固定負債	538	562	△24
純資産合計	5,139	4,789	350
自己資本比率	79.6%	78.7%	0.9%

◆ キャッシュフローの状況

(単位:億円)

	2015年度	2014年度	増減
現金同等物期首残高	787	1,083	
営業活動による キャッシュフロー	1,023	456	567
投資活動による キャッシュフロー	△329	△317	△12
財務活動による キャッシュフロー	△185	△462	277
換算差額	△18	27	△45
現金同等物期末残高	1,277	787	490

◆ 資産の部

➤ 流動資産

- 現金・預金 [+294]
- 有価証券(余資運用) [+385]

➤ 固定資産

- 販売権:Egalet社減損等 [△28]
- 投資有価証券:下落・売却等 [△119]

◆ 負債純資産の部

- 利益剰余金 [+484]
(当期利益+667、配当△182)
- 為替換算調整 [△112]

◆ 営業活動CF

- キャッシュを伴う利益の増加 [+357]
- 運転資本の縮小 [+111]
- 配当金の受取増加 [+50]
- 税金支払い額の減少 [+48]

◆ 財務活動CF

- 前期:自己株式の取得 [△300]

事業別売上高



(単位:億円)

	2015年度 予想	2015年度 実績	対予想 達成率 (%)	2014年度 実績	対前年 UP率 (%)	増減額
国内医療用医薬品	1,670	1,621	97.1	1,614	0.4	7
海外子会社 / 輸出*	304	297	97.7	287	3.6	10
シオノギ Inc.	174	166	95.6	159	4.3	7
Osphena®	74	48	65.2	46	5.5	2
製造受託*	76	84	111.2	156	△45.9	△72
一般用医薬品	47	49	103.6	46	6.7	3
ロイヤリティー収入	888	1,018	114.7	607	67.8	411
(うちクレストール®およびHIVフランチャイズ)	800	881	110.1	532	65.4	349
クレストール®	-	476	-	474	0.4	2
HIVフランチャイズ	-	405	-	58	594.0	347
その他	30	30	100.0	31	△2.2	△1
合計	3,015	3,100	102.8	2,740	13.1	360

◆ 米国事業

- オスフィーナ®:市場シェアの拡大及び対前年比の売上増は達成したが、販売計画は未達

◆ 製造受託

- サインバルタ®契約変更により、製造受託の売上は減少

国内医療用医薬品



(単位:億円)

	2015年度 予想	2015年度 実績	対予想 達成率 (%)	2014年度 実績	対前年 UP率 (%)	増減額
クレストール [®]	444	437	98.5	436	0.3	1
イルベタン [®] 類	170	157	92.2	151	3.7	6
サインバルタ [®] *	174	152	87.4	109	39.0	43
戦略3品目 合計	788	746	94.7	697	7.1	49
オキシコンチン [®] 類	107	100	93.7	103	△ 2.3	△ 3
フィニバックス [®]	38	38	99.7	40	△ 4.8	△ 2
ディフェリン [®]	38	30	77.7	39	△ 23.8	△ 9
ピレスパ [®]	54	60	111.2	54	11.9	6
ラピアクタ [®]	28	20	72.4	26	△ 23.4	△ 6
戦略8品目 合計	1,053	994	94.4	958	3.8	36
(8品目売上高比率)	(63.1%)	(61.3%)		(59.3%)		
国内医療用医薬品	1,670	1,621	97.1	1,614	0.4	7

- ◆ 戦略品目を中心に売上を拡大
- ◆ サインバルタ[®]
 - 線維筋痛症に伴う疼痛ならびに慢性腰痛症に伴う疼痛の適応を取得

- ◆ ディフェリン[®]
 - 競合品の発売
- ◆ ラピアクタ[®]
 - インフルエンザ流行の遅延

損益計算書



(単位:億円)

	2015年度 予想	2015年度 実績	対予想 達成率 (%)	2014年度 実績	対前年 UP率 (%)	増減額
売上高	3,015	3,100	102.8	2,740	13.1	360
(ロイヤリティー*収入)	800	881	110.1	532	65.4	349
	24.4 (33.2)	24.1 (33.7)		30.0 (37.2)		
売上原価	735	748	101.7	822	△9.0	△74
売上総利益	2,280	2,352	103.2	1,918	22.6	434
販売費・ 一般管理費	49.8	46.4		51.6		
販売・管理費	1,500	1,438	95.9	1,414	1.7	24
研究開発費	1,010	940	93.1	926	1.6	14
	490	498	101.6	489	1.9	9
	25.9	29.5		18.4		
営業利益 (ロイヤリティー*除く)	780	914	117.2	504	81.5	410
	△20	33	-	△29	-	62
営業外収支	P100	P95	94.6	P275	△65.6	△180
	29.2	32.5		28.4		
経常利益	880	1,009	114.6	779	29.5	230
特別損益	L2	L34	-	P42	-	△76
税引前利益	879	975	110.9	821	18.8	154
法人税等	289	308	106.6	380	△19.0	△72
親会社株主に帰属する 当期純利益	19.6	21.5		16.1		
	590	667	113.0	441	51.4	226

◆売上原価(売上原価率)
改善:サインバルタ®の契約変更、導出・マイルストンの受領

◆販売費・一般管理費
減少:全社最適の優先順位付けにより、戦略的にリソースを投下

◆営業外収支
減少:昨年度はViiV社配当金を2年分受領

◆特別損失
増加:Egalet社との共同開発を解消

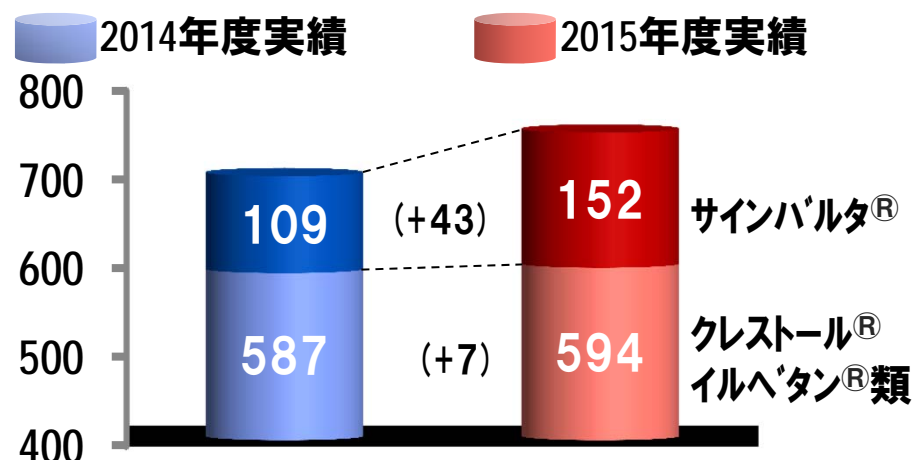
注: ()内はクレストール® およびHIVフランチャイズからのロイヤリティー収入を除外した売上高に対する売上原価の割合
* クレストール®およびHIVフランチャイズからのロイヤリティーと定義

サインバルタ® 契約変更の連結業績への寄与

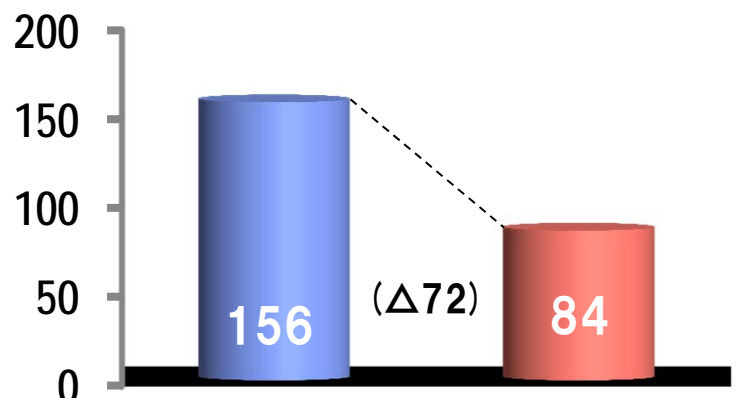


2社協業による情報提供活動の強化、サインバルタ®ブランド売上拡大

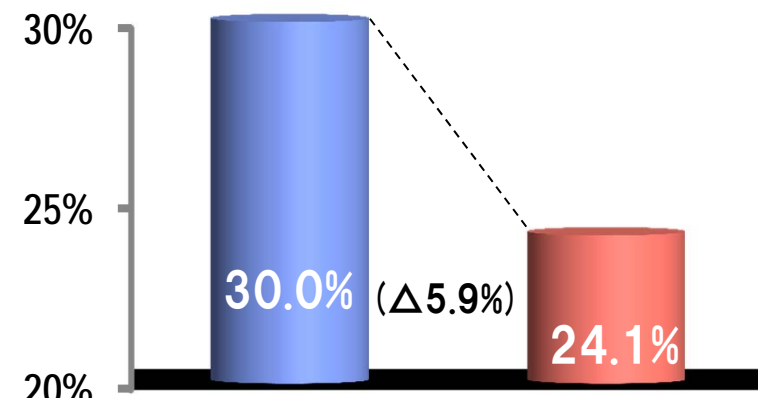
- ◆ コ・プロモーションに伴う対価の受領
 - 医療用医薬品売上の増
- ◆ 契約変更に伴う原薬納入価の変更
 - 製造受託売上の減少
 - 連結売上原価率の減少



戦略3品目売上高(億円)



製造受託売上高(億円)



連結売上原価率(%)

開発パイプラインの注力目標と結果



領域	開発品	適応症	2016年3月末時点の状況
感染症	S-649266	多剤耐性グラム陰性菌感染症	グローバル:Phase II、Phase III
	S-033188	インフルエンザウイルス感染症	日本:Phase II、米国:Phase I
疼痛・神経	サインバルタ®	線維筋痛症に伴う疼痛	日本:承認(2015/5 取得)
		慢性腰痛症に伴う疼痛	日本:承認(2016/3 取得)
		変形性関節症に伴う疼痛	日本:申請
	ナルデメジン	オピオイド誘発性の便秘症	日本・米国:申請
	オキシコンチン®	がん性・非がん性疼痛	日本:Phase III
		オキシコドン乱用防止製剤	日本:Phase I 完了
	S-718632	慢性疼痛 (ハイドロコドン乱用防止製剤)	Egalet社との共同開発を解消
	グアンファシン塩酸塩 (S-877503)	小児 ADHD(注意欠如・多動症)	日本:申請
成人 ADHD		日本:Phase III	
フロンティア	ムルプレタ® (ルストロンボパグ)	慢性肝疾患による血小板減少症	日本:承認(2015/9 取得)

青字:年度目標達成

2015年度経営課題に対する取り組みの結果



基盤となる 国内ビジネスの強化

- サインバルタ®の適応拡大、
情報提供活動の強化
- 戦略品及び新薬(ムルプレタ®、
アシテア®)への営業リソースの
集中
- クレストール®OD錠承認取得、
グアンファシン塩酸塩申請
- 地域医療を踏まえた、医療全般
への貢献ができる国内事業の体
制構築

グローバル新製品 の育成力向上

- オスフィーナ®はエビデンスに基
づくメッセージ、購入サポートの
充実により処方数を拡大
- ナルデメジンの日米同時申請
- S-649266、ルストロンボパグ
のグローバル開発
- S-033188、RSC-435830
(GSK3342830)のライセンス
契約締結

ロイヤリティーに 依存しない経営体制 の構築

- ロイヤリティーを除く売上原価
率は大幅に改善するものの、
計画は未達
- たな卸資産回転月数:6.8か月
- コストコントロール力の向上

2015年度の振り返りとSGS2020達成に向けた課題



2015年度の振り返り

トップラインの成長 △

ボトムラインの成長 ◎

売上

- 全社目標の**達成**
- 国内事業/海外事業は**対前年で伸長したも**のの計画は**未達**

コスト

- 選択と集中による**優先順位の明確化**
- コストコントロール力の**向上**

利益

- 国内/海外事業ともに**利益計画を達成**
- 営業利益、経常利益は**過去最高を更新**

SGS2020における『中核事業の進化』の仕上げ

ボトムライン目標の達成を堅持しながら
国内/海外事業の**トップライン**目標を達成する

2016年度 ビジネスプラン

業績予想



(単位:億円)

	2016年度予想		2015年度	対前年	
	通期	上期	実績	UP率 (%)	増減額
売上高	3,180	1,450	3,100	2.6	80
営業利益	915	330	914	0.1	1
経常利益	1,015	330	1,009	0.6	6
親会社株主に帰属する 当期純利益	710	210	667	6.5	43
ROE	13.3%		13.6%		

注: 表記は億円未満を四捨五入

為替レート(期中平均)	2016年度前提	2015年度実績
ドル	110円	120.15円
ユーロ	130円	132.59円
ポンド	155円	181.33円

事業別売上高予想



(単位:億円)

	2016年度予想		2015年度 実績	対前年	
	通期	上期		UP率(%)	増減額
国内医療用医薬品	1,582	763	1,621	△ 2.4	△39
海外子会社 / 輸出	247	124	297	△ 16.8	△50
シオノギ Inc.	124	60	166	△ 25.5	△42
Osphena®	53	26	48	10.4	5
製造受託	109	53	84	28.8	25
一般用医薬品	70	35	49	42.9	21
ロイヤリティー収入	1,149	463	1,018	12.8	131
(うち Crestor® および HIVフランチャイズ)	950	425	881	7.8	69
Crestor®	330	165	476	△ 30.7	△146
HIVフランチャイズ	620	260	405	53.1	215
その他	24	12	30	△ 20.8	△6
合計	3,180	1,450	3,100	2.6	80

国内医療用医薬品予想



(単位:億円)

	2016年度予想		2015年度 実績	対前年	
	通期	上期		UP率 (%)	増減額
クレストール [®]	415	209	437	△ 5.0	△ 22
イルベタン [®] 類	151	74	157	△ 3.9	△ 6
サインバルタ [®]	193	89	152	27.1	41
戦略3品目 合計	759	372	746	1.7	13
オキシコンチン [®] 類	105	55	100	4.7	5
フィニバックス [®]	39	20	38	4.2	1
ピレスパ [®]	63	33	60	5.0	3
ラピアクタ [®]	23	1	20	13.0	3
戦略7品目* 合計 (7品目売上高比率)	990 (62.5%)	481 (63.0%)	965 (59.5%)	2.6	25
国内医療用医薬品	1,582	763	1,621	△ 2.4	△ 39

損益計算書予想



(単位:億円)

	2016年度予想		2015年度	対前年	
	通期	上期	実績	UP率(%)	増減額
売上高 (ロイヤリティー収入)	3,180 950	1,450 425	3,100 881	2.6 7.9	80 69
売上原価	24.5 (35.0) 780	26.6 (37.6) 385	24.1 (33.7) 748	4.3	32
売上総利益	2,400	1,065	2,352	2.0	48
販売費・ 一般管理費	46.7 1,485	50.7 735	46.4 1,438	3.3	47
販売・管理費	985	490	940	4.8	45
研究開発費	500	245	498	0.4	2
営業利益 (ロイヤリティー除く)	28.8 915 △35	22.8 330 △95	29.5 914 33	0.1 -	1 △68
営業外収支	P100	-	P95	5.7	5
経常利益	31.9 1,015	22.8 330	32.5 1,009	0.6	6

◆ 売上原価(率)

増加:

- 薬価改定
- 品目構成の変更

◆ 販売・一般管理費

増加:

- 新製品発売準備の推進

◆ 上記以外の営業利益減少要因

- 退職給付費用の増加に伴う人件費増

注: ()内はロイヤリティー収入を除外した売上高に対する売上原価の割合 19

ビジネスプラン達成に向けた基本戦略



SGS2020の『中核事業の進化』を仕上げるための課題

ボトムライン目標の達成を堅持しながら
国内/海外事業の**トップライン**目標を達成する

2016年度の位置づけ

2017年度以降に迎える戦略品目の独占販売期間終了に備え
事業基盤強化と成長ドライバー育成を進める1年

2016年度の基本戦略

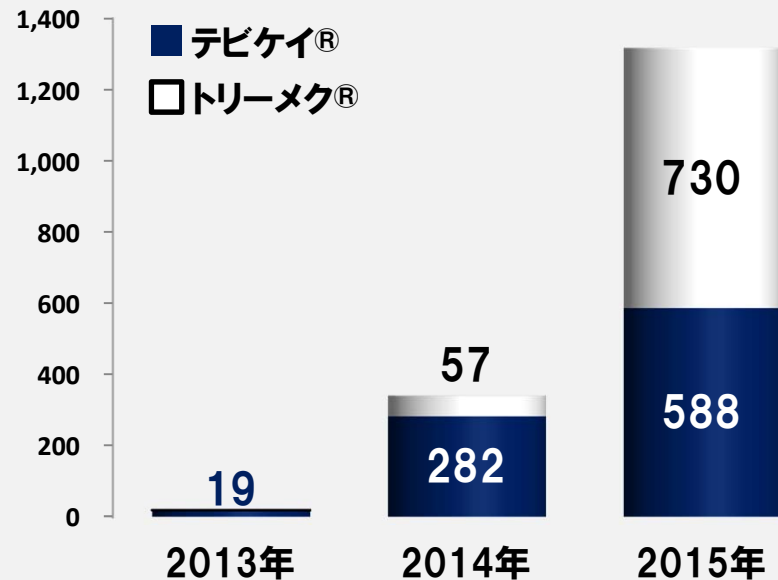
ロイヤリティー拡大とコストマネジメント力による成長を維持しながら
国内/海外事業を強化・拡大する

HIVフランチャイズの拡大が継続



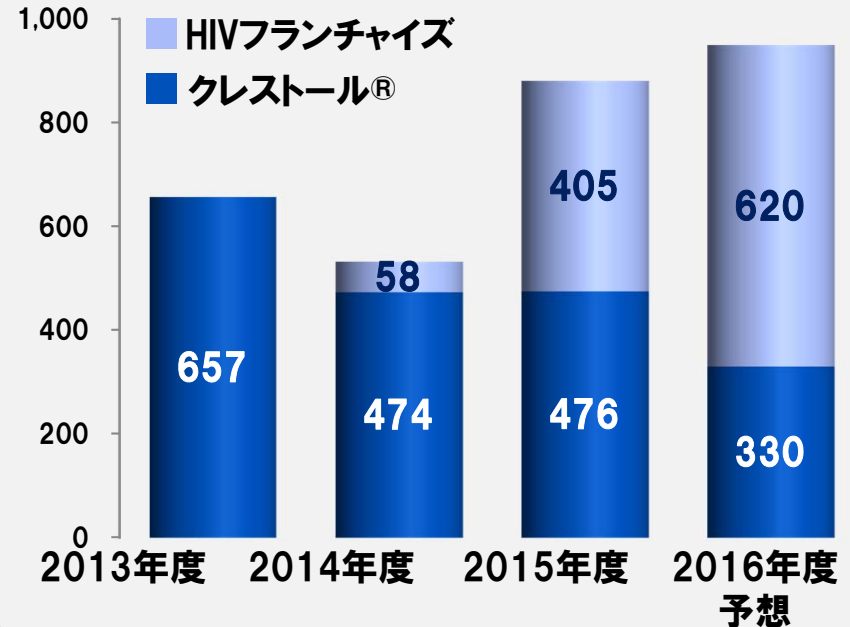
【HIVフランチャイズグローバル販売額】

(百万ポンド)



【ロイヤリティー受取額の推移】

(億円)



- ◆ HIVフランチャイズのグローバル販売が力強く拡大
- ◆ クレストール®ロイヤリティー減少分をカバー

国内事業の強化・拡大



◆ 成長ドライバーへのリソース投入

サインバルタ®

- うつ病、うつ状態
 - 第一選択薬の一つとしてさらに拡大
- 線維筋痛症に伴う疼痛、慢性腰痛症に伴う疼痛
 - アンメットニーズを満たす新たな治療選択肢の提供
 - 精神科医と整形外科医等との連携促進
 - 適正診断、適正使用に向けた情報提供

グアンファシン
塩酸塩

- ADHDファミリー(グアンファシン塩酸塩、Lisdexamfetamine)のプレゼンス確立に向け、全社プロジェクトを始動

◆ 事業基盤の強化

クレストール®
OD錠

- シオノギの製剤技術を活用し、服薬コンプライアンスを向上(シオノギ初のNTE創薬*)
- クレストール®の製品価値最大化

オキシコドン

- 非がん性疼痛への適応拡大により、既存薬では困難な疼痛の緩和に貢献し、医療用オピオイドの価値最大化
- 乱用防止製剤を開発し、適正使用を推進

海外事業の強化・拡大



◆ 米国事業の基盤強化

オスフィーナ®

- 閉経後膣萎縮症市場において唯一シェア拡大
- 拡大ポテンシャルの高い地域にリソースを集中
- 適応追加に向けた臨床試験(閉経後膣萎縮症に伴う膣乾燥感)

◆ 海外における成長ドライバー

ナルデメジン

- シオノギ初の自社創製グローバル品としての発売準備
- 製品価値最大化につながるパートナーリングの検討

S-649266

- 世界的課題である薬剤耐性感染症対策への貢献
- カルバペネム耐性菌感染症を対象としたPhase III試験、複雑性尿路感染症を対象としたPhase II試験の推進

◆ 中国事業の成長に向けた変革

C&O

- 中国における市場環境変化(医療費適正化、製造・品質管理、商習慣)を好機とし、品質や価格で競争力を発揮できる企業へと変革

2016年度パイプラインの進捗目標



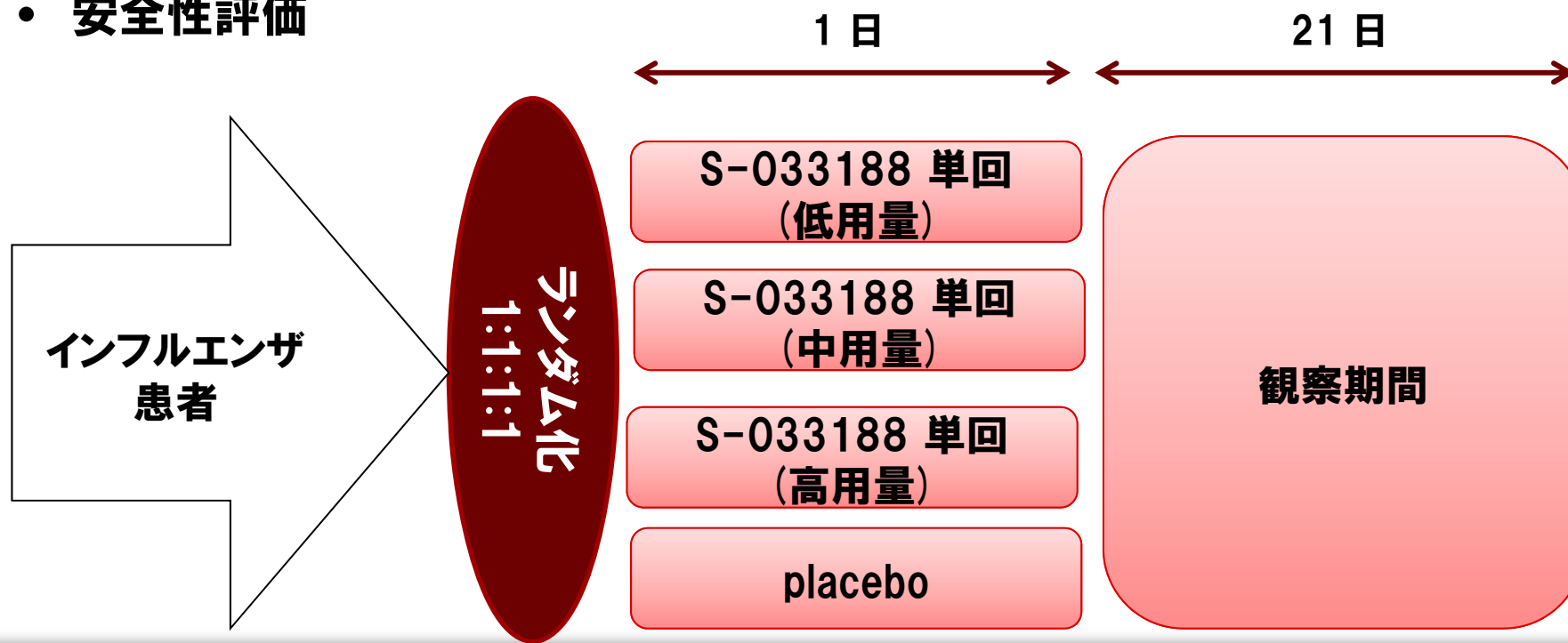
領域	開発品	2016年4月1日時点	2016年度目標
感染症	S-649266 多剤耐性グラム陰性菌感染症	グローバル:Phase II、III	米国:申請
	S-033188 インフルエンザ感染症	日本:Phase II 米国:Phase I	日本:Phase II 完了 米国:Phase I 完了 日本:Phase III 開始 グローバル:Phase III 開始
疼痛 神経	グアンファシン塩酸塩 小児ADHD	日本:申請	日本:承認
	サインバルタ® 変形性関節症に伴う疼痛	日本:申請	日本:承認
	ナルデメジン オピオイド誘発性の便秘症	日本・米国:申請	日本・米国:承認
	オキシコドン 慢性疼痛における鎮痛	日本:Phase III	日本:申請
	オキシコドン 乱用防止製剤	日本:Phase I 完了	日本:申請
	Lisdexamfetamine 小児ADHD	日本:Phase III	日本:Phase III完了
代謝性 疾患	S-237648 肥満症	日本:Phase II	日本:Phase II 完了 米国:Phase I 開始
フロンティア 疾患	ルストロンボパグ 慢性肝疾患による血小板減少症	グローバル:Phase III	グローバル:申請
	S-222611 悪性腫瘍	欧州:Phase I/II	欧州:Phase I/II 完了

S-033188 Phase II 試験計画

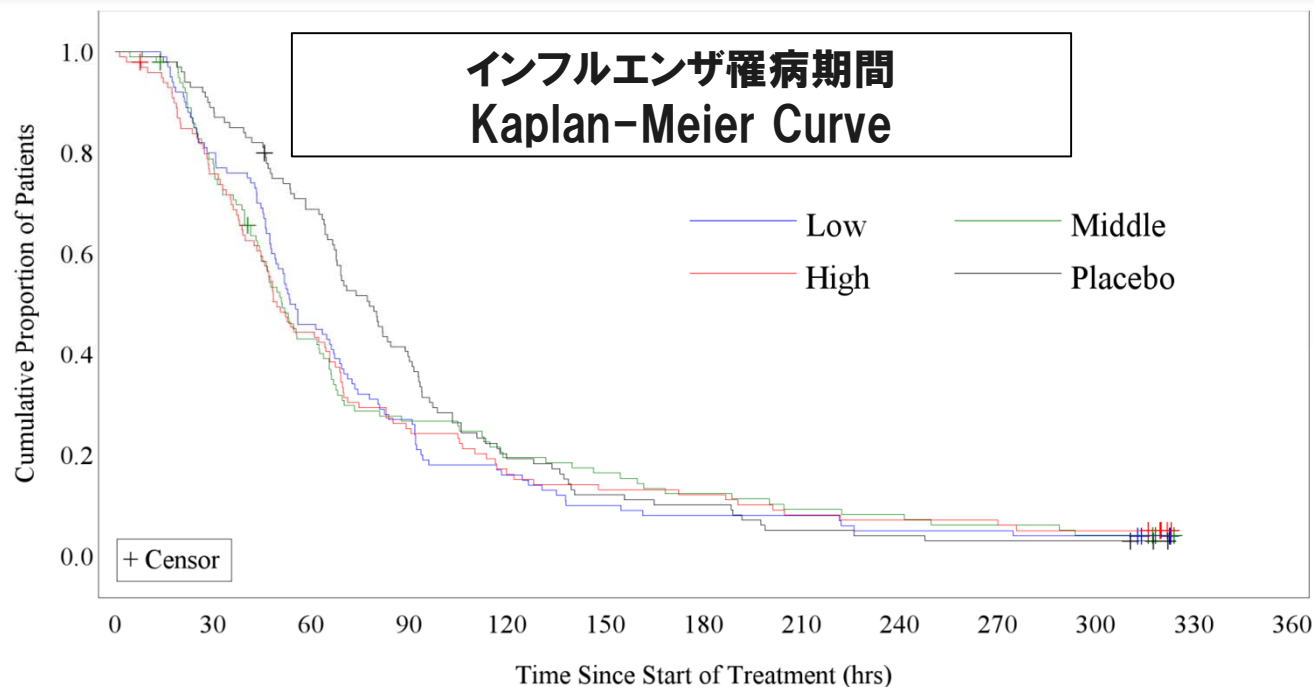


第II相 多施設共同無作為化二重盲検プラセボ対照並行群間比較試験:

- 対象疾患:インフルエンザウイルス感染症 (A型またはB型)
- 症例数:400例 (1群100例)
- 有効性評価:
 - 主要評価項目-インフルエンザ7症状が消失するまでの時間 (インフルエンザ罹病期間)
- 安全性評価



S-033188 Phase II 試験速報



主要評価項目: Cox比例ハザードモデルではプラセボに対する有意差を認めなかったが、Generalized Wilcoxon検定では3用量ともにプラセボに対する有意差を認めた

ウイルス力価の推移ならびに平熱に回復するまでの時間: S-033188の有する強力なウイルス抑制効果を示し、3用量ともにプラセボに対する有意差を認め、本薬の特性を確認できた

安全性: 3用量群ともにプラセボと同様の良好な忍容性を認めたため、第III相に向けて準備中

株主還元について

利益配分等に関する基本方針



- ◆ 2015年度配当：1株当たり**62円**を予定（2016年4月25日修正）
- ◆ 2016年度配当：1株当たり**68円**（**中間34円、期末34円**）を予定

	2014年度 実績	2015年度			2016年度
		期初予定	2015/10/29 修正	予定 (4/25修正)	予定
親会社株主に帰属する 当期純利益	441億円		667億円		710億円
1株当たり配当金	52.00円	56.00円	⇒ 60.00円	⇒ 62.00円	68.00円
配当性向	39.2%	-	29.3%	⇒ 30.3%	31.2%
D O E	3.7%	-	4.0%	⇒ 4.1%	4.1%
R O E	9.4%		13.6%		13.3%

- ◆ 株主還元、成長投資、戦略的事業投資のバランスをとりながら企業価値最大化を図る
- ◆ 中長期的な利益成長を実感いただける株主還元施策を柔軟に推進

SGS2020 Rolling Plan (2018年度目標)

2018年度に目指す姿



トップラインとボトムラインの成長を両立

2015年度

2016年度

2017年度

2018年度

2019年度

2020年度

FIC、LIC化合物による成長

選択と集中

中核事業の進化

成長へのギアチェンジ

経常利益、ROEは
2020年計画を前倒し

【2015年度実績】

売上高 3,100億円

経常利益 1,009億円

ROE 13.6%

【2018年度目標】

売上高 4,000億円

経常利益 1,250億円

ROE 15%

【2020年度目標】

売上高 5,000億円

経常利益 1,250億円

ROE 15%

SGS2020のビジョン: 創薬型製薬企業として成長する

2017年度目標に対する進捗



売上以外の2017年度計画を2015年度に達成

	2015年度 (実績)	2016年度 (予想)	2017年度 (計画)
売上	3,100 億円	3,180 億円	3,500 億円
原価率	24.1%	24.5 %	25 %*
経常利益	1,009 億円	1,015 億円	900 億円
ROE	13.6 %	13.3 %	12.0 %

シオノギの成長を牽引する新たな製品群



新製品上市ターゲット

2016年度	▶▶▶ 2017年度	▶▶▶ 2018年度
国内事業		
クレストール®OD錠 サインバルタ® 慢性腰痛症に伴う疼痛 変形性関節症に伴う疼痛 医療用イソジン®	ナルデメジン グアンファシン塩酸塩 オキシコドン 乱用防止製剤 非がん性疼痛	S-033188 Lisdexamfetamine アシテア®舌下錠 小児通年性アレルギー性鼻炎(ダニ)
米国事業		
	ナルデメジン S-649266 ルストロンボパグ	オスフィーナ® 閉経後膣萎縮症に伴う膣乾燥感
グローバル導出品		
		ドルテグラビル + リルピピリン

2018年度に向けた取り組み



定量目標

売上高 4,000億円

経常利益 1,250億円 ROE 15%

重要な 経営課題

- ◆ トップラインの成長
 - 戦略品の価値最大化
 - 感染症、疼痛・神経領域開発品の承認取得、上市
 - 成長を加速させる戦略的成長投資の検討
- ◆ ボトムラインの成長
 - 国内事業の選択と集中、海外事業の早期黒字化
 - コストコントロールからコストマネジメントへの意識転換
 - 資本コストを意識した高利益水準の確保

SGS2020

利益の前倒し達成を踏まえた最終年度目標の見直し検討

Appendix

- 開発品の進展 -

パイプラインの状況（2016年5月現在）



非臨床	Phase I	Phase II		Phase III		申請	
	S-120083 炎症性疼痛	S-649266 多剤耐性グラム 陰性菌感染症				【海外開発品】	
	S-033188 インフルエンザ 感染症	S-707106 2型糖尿病	S-488210 頭頸部がん	S-649266 多剤耐性グラム 陰性菌感染症			
	S-117957 不眠症	S-222611 悪性腫瘍	S-588410 膀胱がん	オスフィーナ® 閉経後膣萎縮症 に伴う膣乾燥感	ルストロンボパグ 慢性肝疾患によ る血小板減少症	ナルデメジン オピオイド誘発性 の便秘症	
						【国内開発品】	
抗緑膿菌 抗体	オキシコドン 乱用防止製剤	S-649266 多剤耐性グラム 陰性菌感染症		S-649266 多剤耐性グラム 陰性菌感染症	Lisdexamfetamine 小児ADHD	グアンファシン 塩酸塩 成人ADHD	ナルデメジン オピオイド誘発性 の便秘症
中枢神経 障害性疼痛	S-120083 炎症性疼痛	S-033188 インフルエンザ 感染症	S-237648 肥満症	アシテア® 小児通年性アレ ルギー性鼻炎（ダニ）	オキシコドン 慢性疼痛 における鎮痛	サインバルタ® 変形性関節症に 伴う疼痛	
NTE創薬 吸入剤	S-010887 神経障害 性疼痛	S-525606 スギ抗原によるア レルギー性鼻炎	S-588410 膀胱がん	S-555739 アレルギー性 鼻炎	S-588410 食道がん	グアンファシン 塩酸塩 小児ADHD	

パイプラインの状況（2016年5月現在）



非臨床	Phase I	Phase II	Phase III	申請
【アウトライゼンス】				
<p>GSK3342830 多剤耐性グラム陰性菌 感染症</p>		<p>カボテグラビル+リルピピリン 持続性注射製剤 HIV感染症</p>		
		<p>カボテグラビル 持続性注射製剤 HIV感染予防</p>	<p>ドルテグラビル+リルピピリン HIV感染症</p>	
<p>Janssen/シオノギ プロジェクト化合物 アルツハイマー病</p>			<p>Janssen/シオノギ βセクレターゼ阻害剤 アルツハイマー病</p>	

参考資料(開発化合物名称 対比表)



開発番号	一般名	製品名	適応等
S/GSK 1349572	ドルテグラビルナトリウム	テビケイ®	HIV感染症
—	ドルテグラビルナトリウム/アバ カビル硫酸塩/ラミブジン	トリーメク®	HIV感染症
S/GSK 1265744 LAP	cabotegravir	—	HIV感染症
S-649266	—	—	多剤耐性グラム陰性菌感染症
S-033188	—	—	インフルエンザ感染症
S-811717	オキシコドン塩酸塩水和物	オキシコンチン®	疼痛治療薬
S-297995	ナルデメジントシル酸塩	—	オピオイド誘発性の便秘症
LY248686	デュロキセチン塩酸塩	サインバルタ®	うつ・うつ症状、慢性腰痛症等
S-877503	グアンファシン塩酸塩	Intuniv®(米国名)	ADHD
S-877489	lisdexamfetamine	Vyvanse®(米国名)	ADHD
S-888711	ルストロンボパグ	ムルプレタ®	慢性肝疾患による血小板減少症
S-524101	—	アシテア®	ダニ抗原による通年性アレルギー性 鼻炎

将来の見通しに関する注意事項

- 本資料において提供される情報は、いわゆる「見通し情報」(forward-looking statements)を含みます。これらの文言は、現在における見込み、予測、リスクを伴う想定、実質的にこれらの文言とは異なる現実的な結論・結果を招き得る不確実性に基づくものです。
- それらリスクや不確実性には、一般的な業界ならびに市場の状況、金利、通貨為替変動といった一般的な国内および国際的な経済状況が含まれます。
リスクや不確実性は、特に製品に関連した見通し情報に存在します。製品のリスク、不確実性には、技術的進歩、特許の競合他社による獲得、臨床試験の完了、製品の安全性ならびに効果に関するクレームや懸念、規制機関による審査期間や承認取得、国内外の保険関連改革、マネジドケア、健康管理コスト抑制への傾向、国内外の事業に影響を与える政府の法規制など、新製品開発に付随する課題などが含まれますが、これらに限定されるものではありません。
- 承認済みの製品に関しては、製造およびマーケティングのリスクがあり、需要を満たす製造能力を構築する能力を欠く状況、原材料の入手困難、市場の受容が得られない場合などが含まれますが、これに限定されるものではありません。
- 新しい情報、将来の出来事もしくはその他の事項により、見通し情報に更新もしくは改正が望ましい場合であっても、それを行う意図を有するものではなく、義務を負うものではありません。
- 本資料には、医薬品(開発中の製品を含む)に関する情報が含まれておりますが、その内容は宣伝広告、医学的アドバイスを目的としているものではありません。
- 本資料は国内外を問わず、投資勧誘またはそれに類する行為を目的として作成されたものではありません。
- 本資料の利用にあたっては、利用者の責任によるものとし、情報の誤りや瑕疵、目標数値の変更、その他本資料の利用の結果生じたいかなる損害についても、当社は一切責任を負いません。